

2019年度

第3回小児ネットワークミーティング

日 時：令和元年11月30日

場 所：国立病院機構 南京都病院

テーマ1：重症心身障害児（者）の呼吸理学療法 ～症例を通して～

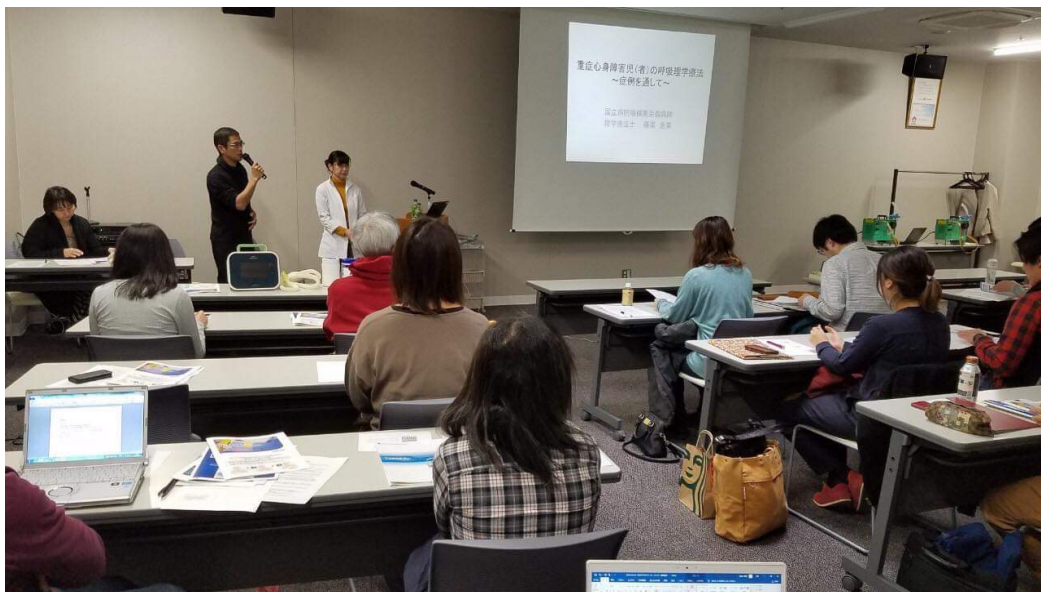
講 師：藤尾直美先生（南京都病院・理学療法士）

テーマ2：体感して理解する呼吸理学療法関連機器

講 師：白井亮一先生（南京都病院・臨床工学技士）

テーマ1

重症心身障害児（者）の呼吸理学療法 ～症例を通して～

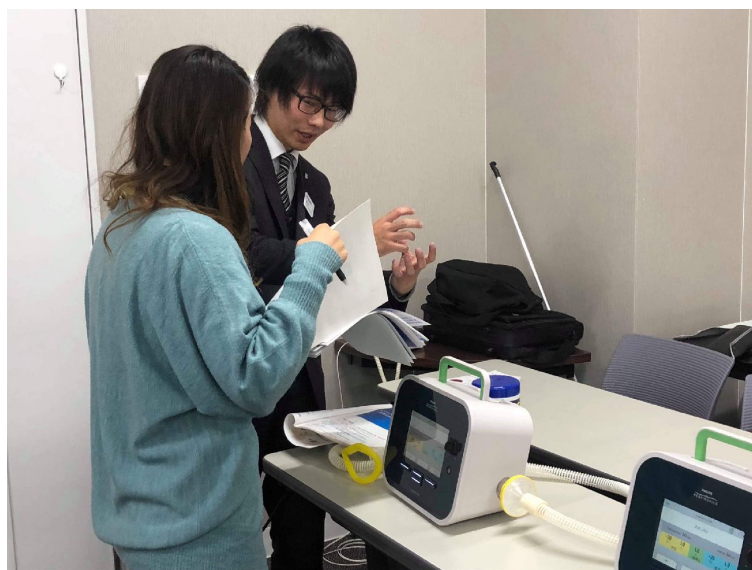


南京都病院において、呼吸障害のある重症児（者）に対して、病棟で行ってる呼吸管理について、基知識および症例を通して紹介していただきました。

具体的には、腹臥位保持などの姿勢管理や、機器を用いた排痰援助などの気道の清浄化などを行っており、多職種（医師・理学療法士・看護師など）が共通した理解のもと、連携した介入を、日常生活に極力制限をかけない形で呼吸管理を行っておられました。

テーマ2

体感して理解する呼吸理学療法関連機器（カフアシスト E70）



カフアシスト E70は、口に当てたフェイスマスクからの送気に合わせて呼吸をすることで、咳を助けるくれる機器です。

カフアシスト E70 (フィリップス)

<https://www.philips.co.jp/healthcare/product/HC1098160/e70>

テーマ2

体感して理解する呼吸理学療法関連機器（人工呼吸器 IPV）



人工呼吸器 IPVとは、肺内を直接パーカッションして分泌物を流動化し、排痰を促進する機器です。

人工呼吸器IPV (パーカッションエア・ジャパン株式会社)

<http://www.percussionaire.jp/commodity/index.html>

テーマ2

体感して理解する呼吸理学療法関連機器（体外式陽圧人工呼吸器 RTX）



体外式陽圧人工呼吸器 RTXとは、胸郭に当てたキュイラス内を陰圧にすることで、横隔膜の引き下げと胸郭の広がりを促し、吸気を助ける機器です。

体外式陽圧人工呼吸器 RTX (アイ・エム・アイ株式会社)

<https://www.imimed.co.jp/int/productnavi/rtx-respirator/>

まとめ



今回は、実際に呼吸管理機器を「体験」しながら交流を深めるという、小児ネットワークミーティングとしては、はじめての試みでした。個別の症例紹介や、具体的な機器の体験、参加者同士またメーカーの方々との対話など、様々な角度から適切な呼吸管理の活用について理解を深めることができました。南京都病院のスタッフの方々、およびメーカーの方々のご協力のもと、非常に有意義な交流会が開催できました。この場をかりて、改めてお礼を申し上げたいと思います、ありがとうございました。

文責：春田大志